

株式会社ヤマダヤ（名古屋市）の全ブランド共通会員証 LINEミニアプリ「YAMADAYA」を開発支援

全国 18 ブランド 151 店舗で使える登録レスポイントカードアプリで新規会員獲得を促進

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、全国に 18 ブランド 151 店舗を展開するアパレル企業・株式会社ヤマダヤ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：山田 太郎）が 2022 年 12 月 23 日より店頭利用開始する LINE ミニアプリ「YAMADAYA」を開発支援したことを発表します。「YAMADAYA」はヤマダヤの全ブランド共通で使える会員証ミニアプリとしてまずは数店舗から導入を開始後、順次拡大し全店舗に導入する予定で、情報登録なしにすぐポイントをためられる設計により、新規会員獲得の促進を目指します。

LINE ミニアプリ会員証の導入背景

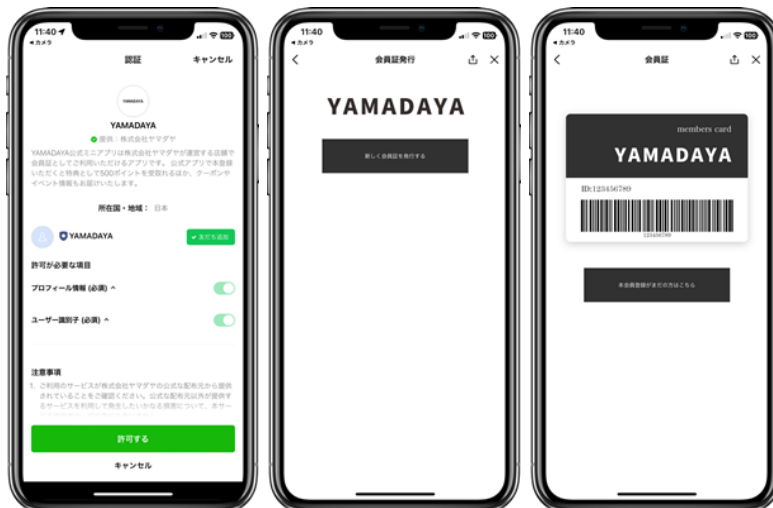
ヤマダヤでは、店舗やオンラインショップでのお買い物が便利になるスマートフォンアプリを展開していますが、スマートフォンアプリは既存会員向けとなっており、利用にはログインが必要な仕様となっています。コロナ禍で買い物時の非接触傾向も進む中、情報登録なしですぐに使い始められる会員証ミニアプリを提供することで、レジ前でのお客さまの滞留や会員登録時の離脱を防ぎ、手軽にポイントをためてリピーターになっていただくことを目指します。アイリッジは、既存ベンダーとのコミュニケーションのスムーズさや今後の展開に関する提案などが評価され、開発パートナーに選ばれました。

LINE ミニアプリ「YAMADAYA」について

LINE ミニアプリ「YAMADAYA」は、レジ前等に設置された QR の読み取り、もしくは LINE 公式アカウント上のメニューリンクから利用開始できます。立ち上げ後、「新しい会員証を発行する」というボタンをタップするだけで、名前やメールアドレス等の登録もなしにその場で仮会員証を発行できます。仮会員証ではポイントをためることのみでき、ポイント利用や履歴の照会、クーポン受け取りなどの会員特典を受けたい場合には情報登録の上、本会員登録していただく流れです。

今後の予定

今後は会員登録導線の簡易化によるお客さまの利用動向を検証しながら、LINE ミニアプリ上での本会員登録機能やクーポン機能の実装についても検討を進めていく予定です。



QRを読み取り→認証許可→「新しく会員証を発行する」を選択するだけでデジタル会員証が発行できる

LINE ミニアプリとは

LINE ミニアプリは、「LINE」アプリ上で企業の自社サービスを提供可能にするウェブアプリケーションです。「アプリの追加ダウンロードや煩雑な会員登録不要」等の特長で“快適なサービス体験”をユーザーに提供でき、企業は LINE アカウントに紐づいたユーザーデータを取得*し、自社のサービスの改善や「LINE 公式アカウント」「LINE 広告」等を通じたマーケティング施策に活用いただけます。

*：LINE アカウントと紐づいたユーザーデータの取得には利用者の許諾が必須となります

※詳細はこちら：<https://www.linebiz.com/jp/service/line-mini-app/>

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO（Online Merges with Offline）支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI（音声インターフェース）、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進やCX改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。